

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公表番号】特表2010-510827(P2010-510827A)

【公表日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2010-014

【出願番号】特願2009-537758(P2009-537758)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/42 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 L

A 6 1 F 13/18 3 0 7 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年1月27日(2012.1.27)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

使い捨て吸収性物品であって、

a. 吸収力を示す内部デザイン信号と、

b. 第1吸収性層と第2吸収性層とを含む吸収性コアであって、前記第1吸収性層は第1基材を含み、前記第2吸収性層は第2基材を含み、前記第1吸収性層及び前記第2吸収性層は、前記第1基材及び前記第2基材上に付着された吸収性微粒子ポリマー材料と、各前記第1基材及び前記第2基材上の前記吸収性微粒子ポリマー材料を覆う熱可塑性材料とを更に含む、吸収性コアと、を備え、

前記吸収性微粒子ポリマー材料は、前記第1基材及び前記第2基材の各々に形成されたグリッドパターンであって、複数のランド領域と、前記ランド領域の間に設けられた、前記吸収性微粒子ポリマー材料をほとんど又は全く含まない複数の接合領域とを有するグリッドパターンを形成し、

前記熱可塑性材料は、前記吸収性微粒子ポリマー材料の少なくとも一部並びに前記第1基材及び前記第2基材の少なくとも一部に接触して、前記第1基材及び前記第2基材に接触する前記接合領域を形成し、

前記第1吸収性層及び前記第2吸収性層が共に組み合わされて、前記第1基材及び前記第2基材の各々の前記熱可塑性材料が互いに接触し、前記第1基材の前記ランド領域の前記吸収性微粒子ポリマー材料が前記第2基材の接合領域に面し、前記第2基材の前記ランド領域の前記吸収性微粒子ポリマー材料が前記第1基材の前記接合領域に面し、前記第1基材及び前記第2基材の各々の前記ランド領域及び前記接合領域が、それぞれ、前記第1基材及び前記第2基材のうちの他方に対してオフセットされ、前記第1基材の前記吸収性微粒子ポリマー材料と前記第2基材の前記吸収性微粒子ポリマー材料との組み合せが、当該組み合せによって形成される前記吸収性コアの吸収性微粒子ポリマー材料領域全体にわたって分布された実質的に連続している吸収性微粒子ポリマー材料の層を形成し、

前記吸収性微粒子ポリマー材料が、前記吸収性コアの90重量%を超える量で前記吸収

性コア内に存在し、

前記内部デザイン信号が、前記吸收性微粒子ポリマー材料の前記グリッドパターンに一致している、使い捨て吸收性物品。

【請求項2】

前記内部デザイン信号が、模様、形、無地色、及び機械加工からなる群から選択される、請求項1に記載の使い捨て吸收性物品。

【請求項3】

前記模様が、波形模様、網状模様、及び涙滴状模様からなる群から選択される、請求項2に記載の使い捨て吸收性物品。

【請求項4】

前記機械加工が、エンボス加工、スリット状加工、延伸すると聞くオーバーボンド作製、CPW結合、超音波結合、熱結合、及び活性化からなる群から選択される、請求項2に記載の使い捨て吸收性物品。

【請求項5】

前記内部デザイン信号が、前記吸收性物品のトップシート上に位置するか、又は前記吸收性物品のトップシートの下にある層に位置して、前記内部デザイン信号が、前記トップシートを通して見える、請求項1～4のいずれか一項に記載の使い捨て吸收性物品。

【請求項6】

前記吸收性物品の長さの少なくとも90%が内部デザイン信号を含み、前記吸收性物品の幅の少なくとも90%が内部デザイン信号を含む、請求項1～5のいずれか一項に記載の使い捨て吸收性物品。

【請求項7】

前記レッグカフに位置する内部デザイン信号を更に備えた、請求項1～6のいずれか一項に記載の使い捨て吸收性物品。

【請求項8】

前記吸收性微粒子ポリマー材料は、濡れると不動化し、前記吸收性コアが90%を超える湿潤不動化を得る、請求項1～7のいずれか一項に記載の使い捨て吸收性物品。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0055

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0055】

吸收経路、ゲルのマイクロファイバー、及び複数の吸收システムが、どのように液体が物品の吸收性コア内に流れるかを伝えることが可能な内部デザイン信号によって視覚化され得る。このように、デザインの合図は、図形が、物品の「中で」何が起こっているのかを表すものであることを、消費者に知らせることが可能である。更に、内部デザイン信号は、物品のコア内に分布している吸收性ポリマーのパターンと一致してもよい。